

十字園だより

第129号



ひのき寮

ハイキング

5月18日に西蒲区の上堰
瀧公園にハイキングへ出掛
けました。当日の朝まで土
砂降りの雨が降ってしまし
たが、皆さんの思いが通じ
たのか、出かける直前に雨
が止み、日が差すほどの天
気になりました。

上堰瀧公園へ向かう途中
でスーパーに寄り、一人ひ
と好きなお弁当やたこ焼
き、お惣菜をカゴに入らな
いくらい選び、買い物も楽
しみました。無事、上堰瀧
公園に到着しましたが、直
前まで雨が降っていた為、
残念ながら公園内を散策す
ることは出来ませんでした。
ですが、時間いっぱい各自
が選んだお弁当やお惣菜を
口に頬張り「おいしいね」
と笑顔で話されていました。

(笹)

安心、安全のために



園長
古俣 健

いつも当施設の運営、経営につきまして多大なご支援、ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、平成30年3月に「障害者虐待事案の未然防止のための調査研究について・調査研究事業報告書」が公表されました。

その報告によりますと、平成28年度、障害者福祉施設従事者等による全国の虐待認定件数は401件。事業所・施設別では「障害者支援施設」が99件と最も多く、そのうち虐待行為の類型で言えば「身体的虐待」が73件占めています。

また、虐待を行った虐待者

の年代をみると「29才以下」や「30～39才」といった比較的若い年代に多い、といった報告になっております。

「障害者支援施設」である当施設十字園は「比較的若い職員が多い施設」であります。よって、このデータをみますと「もしかしたら…」と心配をされる方もいらっしゃるかと思えます。

ただ、皆様ご安心ください。当施設は日々、職員一丸となって虐待防止に努めています。毎月、各寮会議の中で、早期虐待発見リストを用いて、職員同士で不適切な支援はなかったか、話し合いを行っています。また、年2回、全職員に虐待チェックリストを実施、自身の支援に問題はなかったか、振り返る機会を設けております。

これからも、ご利用者、ご家族の安心、安全のために、施設全体で尽力して参ります。

ABAの取り組みについて

支援員 伊東 大佑

現在、十字園では応用行動分析学(以下、「ABA」という)を用いた支援を重点活動事項として取り組んでいます。ABAは「人が幸せに生きていく為の技法」と言われています。

日々の生活の中で、その方らしく生活して欲しいと願う一方で、困ったなと思う行動にどのように対応したら良いのか悩むこともあります。

それらの行動はご本人と周囲の環境のミスマッチにより発現したものです。ABAでは、行動とその前後の事柄を客観的に記録をとり、分析する事で行動の理由が分かってきます。ご本人や行動そのものを変えようとするのではなく周囲の環境(職員の対応、食事、入浴の時間や場所、生



活空間などにアプローチをしていきます。ご本人が過剰しやすい環境を提供することで、その方らしく過ごしていただくことを目標としています。

園内での勉強会や事例報告会の開催、外部研修への参加を通して職員の専門性を高めより良いサービスの提供に努めていきます。

ひのき寮

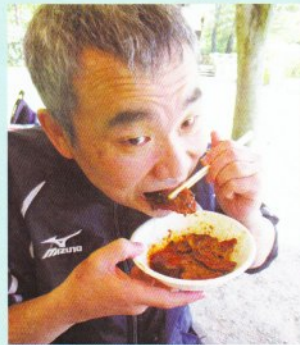
主任 伊藤 孝之

今年度も皆さんが元気で笑顔で、そして一人ひとりに合った生活が送れますよう、日中活動・余暇・環境・重度高齢化の4点に力を入れ支援を進めていきます。
季節を感じたり、外の空気を吸いに、天気の良い日は余暇や外出の機会を多く持ちたいと思います。いつもとは違った雰囲気の中で美味しい食事やコーヒーを堪能出来ればと思います。
ご利用者と喜怒哀楽を共にする中で、または保護者の協力に支えられながら、今年度も皆さんが楽しむ姿が見られるよう職員一丸となって支援させて頂きます。今年度も宜しくお願い致します。

職員紹介



アウトドアバーベキュー



風薫る5月11日、紫雲寺記念公園を目指し出発しました。途中のスーパーで材料も沢山買いました。



到着後、早速バーベキューの始まりです。肉の焼き上がりが待ちきれず何回も鉄板に手を伸ばす場面もありました。皆さんおかわりをしてお肉は完食です。

ジュースやデザートも食べ、ゴロンと横になる方もいました。楽しい時間を過ごせました。(風間)



懇談会



6月4日にひのき寮懇談会が開催され、総勢10名のご家族に参加して頂きました。
今年度ひのき寮の支援目標である日中活動・余暇・環境・重度高齢化の四つを柱に、支援を行っていくことを具体的な例も踏まえお伝えしました。ご家族からは、実際に外出された写真をご覧になりながら、「楽しそう」「良い笑顔」などご意見を頂きました。
今年度も皆さんの楽しい、良い笑顔を拝見できるよう寮職員一同努めて参ります。(木村裕)